



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

2017-2018年度 国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー

2016-2017年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリー： 変化をもたらす

承認 1990年5月1日
例会日 月曜日・18:00
例会場 名古屋クレストンホテル
事務局 中区栄3-31-25
サンテアビタシオン503号室

Tel : (052) 242-6848
Fax : (052) 242-6208
Mobile phone : (080) 5160-5517
E-mail : info@nagoya-sakae-rc.org
URL : http://nagoya-sakae-rc.org/

第1187回例会

2017年9月4日(月) 晴 P.M.12:30 No.8

3RC合同ガバナー公式訪問例会

於：名古屋観光ホテル

会員出席 100(84)名中49名 出席率57.14%
前々回修正出席率95.00%

ゲスト R.I.第2760地区ガバナー 神野 重行様
同 地区幹事 加藤 定信様

ビジター 岡崎南RC 大河原 誠君 他32名

◆国家斉唱

◆ロータリーソング(近藤 直樹委員長)「奉仕の理想」

◆ガバナー・地区幹事紹介

◆3RC正副会長紹介(敬称略)

| | | |
|-------|-------|-------|
| R C | 会 長 | 副会長 |
| 名古屋中 | 坪井 進悟 | 宮内 誠 |
| 名古屋大須 | 岡村 隆徳 | 神野 邦利 |
| 名古屋栄 | 大野 友三 | 日置 教康 |



◆会長挨拶(名古屋中RC会長 坪井 進悟君)



皆様、こんにちは。名古屋中RC会長の坪井進悟です。名古屋大須RC、名古屋栄RCの会長、並びに諸先輩が多くおられますが、恒例によりご挨拶させていただきます。

さて、本日はなぜRCが名古屋に必要なのかということをお話したいと思います。大正9年に東京RCが誕生し、その3年後に関東大震災が起きました。その際、RIより東京RCに見舞金2万5千ドルが贈られました。現在のお金に換算すると50～60億となります。RIはこれほどお金があるのか、と名古屋の財界の方々が驚き、名古屋にRCをつくる気運が高まったと聞いております。初代会長となる伊藤次郎左衛門さんは自ら中心となり名古屋の企業人と公共施設のそうそうたるメンバーを集め、25名で大正13年12月に名古屋RCが発足しました。翌14年2月にRIより認証、4月に米山梅吉氏を含めた多くの来賓を迎えてチャーターナイトを盛大に開催しました。

昭和の初期になり、名古屋に足りないものとしてゴルフ場、ホテル、空港が挙げられました。その結果、商手4年9月には名古屋RC創立以来の大事業である名古屋ゴルフ倶楽部和合コースが開場、11年には名古屋観光ホテルが完成しました。まさに先達の方々に心より敬意を表すると共に、大変誇りに思う次第です。

最後に先輩方からいただいた言葉の中で特に気に入っているものをご紹介します。「最近RCを楽しめない人や、自己を向上させるためにRCを活用していないロータリアンを多く見かけます。ロータリーは楽しくなくてはなりません。その上で相手を思いやる心を育み(これを奉仕の心という)、友情を培い、自分を向上させてくれる場でなくてはなりません。さらに、職場、家庭、社会、すなわち俗世間のいろいろ嫌な

■第1189回(9月25日)例会のお知らせ

卓話：「奇跡を呼び込む力」
(株)ジェイエステイ 代表取締役社長 西 智彦様
9月18日：休会(祝日のため)

ことやうつうしいこと、煩わしいことから離れ、心身をリフレッシュさせてくれ、明日への活力を蘇らせてくれる場でなくてはなりません。これがクラブであります。RCの目的は友情の輪に支えられた奉仕であり、それを通じて地域社会の向上、世界平和、幸福な生活の追求であります」というものです。

◆**幹事報告**(名古屋栄RC幹事 牧野 博和君)

◆**公式訪問**(RI第2760地区ガバナー 神野 重行様)



RI会長イアン・ライズリーさんの今年度のテーマは「ロータリー：変化をもたらす」です。会長のご挨拶を要約しますと、「自らの職業の倫理性を高め、それを通して世界で良いことをしようというロータリーの理念を変えることはありませんが、その行動は時代と共に変化させてきています。いまこの時代だからこそ私たちロータリーは、目的と理念を大切に守りつつ、より良いことをしようという自分たちの奉仕活動をもっと周りの方々に伝播していくことが求められています。そのためにはまず自ら行動することで、ロータリー活動の意義と楽しさを感じることが大切です。それは自らを変え、周りを変えていく力になるでしょう。良いことをしようということが自分の務めと信じると共に、良いことをすることで、良い変化を生み出そうということが出来る集団がロータリーであると感じ、その実現に向けて頑張る人が集まった組織がロータリーです。ロータリーはどんな団体か、と問われるのではなく、何をしている団体かと定義されたいと思います」これが会長の言葉です。すなわち奉仕という行動を通じて、自分自身を含めて人々の人生に変化をもたらそうというのが会長のメッセージです。

私は1月にサンディエゴでの国際協議会に参加し、会長のテーマ講演を伺いました。その時、私は大変革の時代に、会長はリーダーとしてふさわしい人間だと実感しました。その理由として、第1にロータリーとして初めて地球環境問題についての行動を提案したこと、第2に私たちの行動によって周りも変えていこうという考えをはっきり打ち出したこと、第3にロータリーの未来に向けての課題、問題点を明確にしたことです。1番目の地球環境問題については、世界を見渡すと砂漠化で水資源の確保が難しいところ、生活環境が荒れてしまっているところ、さらには全世界的な大気汚染問題を解消するために、私たちは植樹を通して地球環境を守ることが必要になっています。2番目の提案は、

◆**ニコボックス**

- ガバナーをお迎え致しました。 **大野 友三君**
- 3RC合同例会を祝して。 **中村 秀宏君**
笠原 猛君
- 昨日の社会奉仕活動、皆様お疲れ様でした。好天に恵まれ子ども達も喜んでいて良かったです。 **岡田 直人君**

ロータリーの原点とも言える職業奉仕の再認識にも繋がると思います。私たちの周りの人々にロータリーの活動を理解していただき、共感していただければ良いことの幅も奥行きももっと広く深く出来ることを認識してほしいと思います。3番目についてはずっと言い続けられてきたことですが、会長は未来を見据えた問題として提起しました。これからの担う若いメンバーを含め、それぞれの立場で考えてほしいと言っています。

RI会長はロータリーの組織としての課題を2つ挙げました。1つは男女比率の問題、もう1つは平均年齢の問題です。112年という歴史を誇るロータリーは、1989年まで男性だけの団体でした。30年足らずですので、いきなり世の中と同じ半々という訳にはいかないと思っています。各クラブの自由裁量で、クラブの事情に応じて取り組んでいただきたいと思います。また、メンバーの平均年齢については深刻な問題です、ロータリーは若い人にどれだけ理解を得られる団体にするかが大きな課題です。例会や高い入会金、会費などを含め、思い切って見直しをする必要があるとも思っています。

112年という長い歴史を持つロータリーは、基本理念を変えることなく、さらに財源の透明性を高めながら奉仕活動を続け、世の中で最も高い評価を受けるボランティア団体になりました。しかし、それでもまだ世間からの認知度が低く、活動内容への理解も“いまいち”と言わざるを得ない状況です。私はガバナーとして各クラブや地区での奉仕活動についてはマスコミに情報を伝え、興味を持ったことを取り上げていただくよう働きかけています。各クラブの皆様は、3年・5年・10年くらい先をご覧頂き、戦略委員会などで具体的方策をご検討いただきますようお願い致します。

私は地区方針を「今日からのロータリーを楽しもう」と決めさせていただきました。RI会長が言うように、絶えず向上意欲を持ち、日々研鑽に励んでいる人の集まりがロータリークラブであり、より高いロータリーブランドを追求し、この追求が会員の楽しみとならなければクラブの維持発展が出来ないと考えています。地区ビジョンは「10年後20年後も地区の輝きが持続可能であること」としました。行動指針についてもご協力いただき、実践していただきたいと思っています。

皆様、今日からのロータリーを楽しみましょう。本日も参加の皆様のご健勝、そして3RCの益々のご発展を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

◆**閉会の辞**(名古屋栄RC会長 大野 友三君)



神野ガバナー、加藤地区幹事、11時からの会長幹事懇談会に続き、3RC合同例会にご出席いただき、ありがとうございました。「今日からロータリーを楽しもう」を心に刻みながら、これからのクラブの活動を行っていきたいと思います。そして、これを謝辞としたいと思います。本日はお疲れ様でした。